

LITALICOレジデンス

井の頭公園

の

ご報告



20260220 三鷹市居住支援部会資料

株式会社LITALICOパートナーズ

運営状況

- 2025年5月1日に無事オープンし、開所から10か月が経過いたしました。
 - 女性専用ホーム
 - 定員10名・短期入所2室
 - 開所より満床にて運営しており、10月より短期入所の受入れも実施しております。
- ご入居者状況は以下のとおりでございます。
区分5：5名、区分6：5名 ／ 平均年齢：26.3歳

	障害名	年代	支援区分	てんかん	車いす
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

日中活動支援

- 開所前は「午前午後ともに日中活動をやる！」と意気込んでいましたが、現実そのような余裕はありませんでした。当然ではありますが、全員が毎日入浴することを強くご希望されていたので、ご家族に相談の上、午後は入浴の時間とさせていただきます。その代わりに10時～12時は活動時間を確保しています。
- 開所して半年間のご家族や地域のみなさまと交流できるような機会はなかなか作れずにいましたが、ようやく**季節に合わせてのイベントや音楽活動なども定期的に実施**しています。今現在までに夏祭りや音楽祭（ご近所ご家族招いて）を開催しました。
- 当GHのPTや看護師、サビ管によるリハビリ会議を月1回開催し、訪問リハビリとの連携、（+で時間を確保することが難しいため）日常動作の中でどうリハビリ要素を組み込めるか等話し合い、当GHのPTから支援員に周知しています。

行事

- ご入居者のお誕生日会や、デリバリーDay・美容Dayといった生活に彩りを添えられるような活動も実施しており、取り組みの様子を写真や動画にし、ご家族のみなさまへ共有・報告しています。

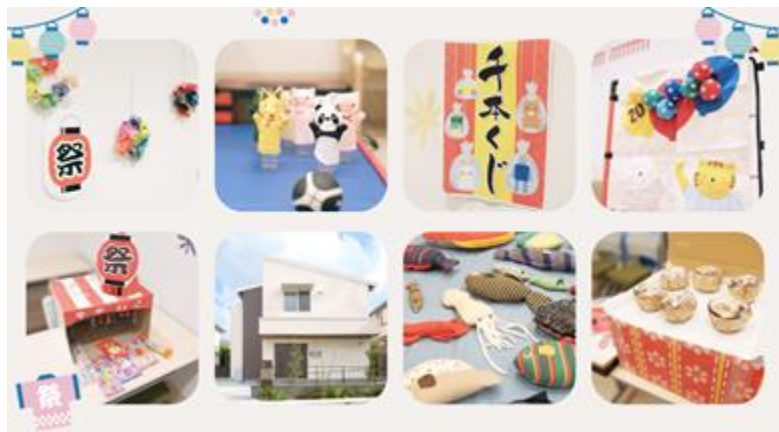
- 2025年7月27日：第1回家族会を実施

- ご両親や親族の方々全員がご参加くださり、ホームスタッフとの交流に留まらず、ご家族様同士で親交を深めていただける機会となりました。半年に1回の開催です。

- 2025年10月11日：夏祭りイベントを実施

- 今年の夏は猛暑でなかなか外出もできなかったため、少し遅い時期の開催となりましたが夏祭りを企画いたしました。

- 浴衣をご家族に用意していただき、焼きそばやウインナー、たこやき等、屋台をイメージしたお食事の提供と輪投げやボードゲームを用意して、ご入居者もスタッフも一緒に楽しむことができました。



- 2025年11月29日：音楽会を開催

- 近隣住民の方をお招きしての音楽会を実施いたしました。ホーム内に寄付いただいたピアノとギターがあり、ピアノを習っているご入居者のひとは当日に向けて毎日レッスンされて当日演奏を実施。

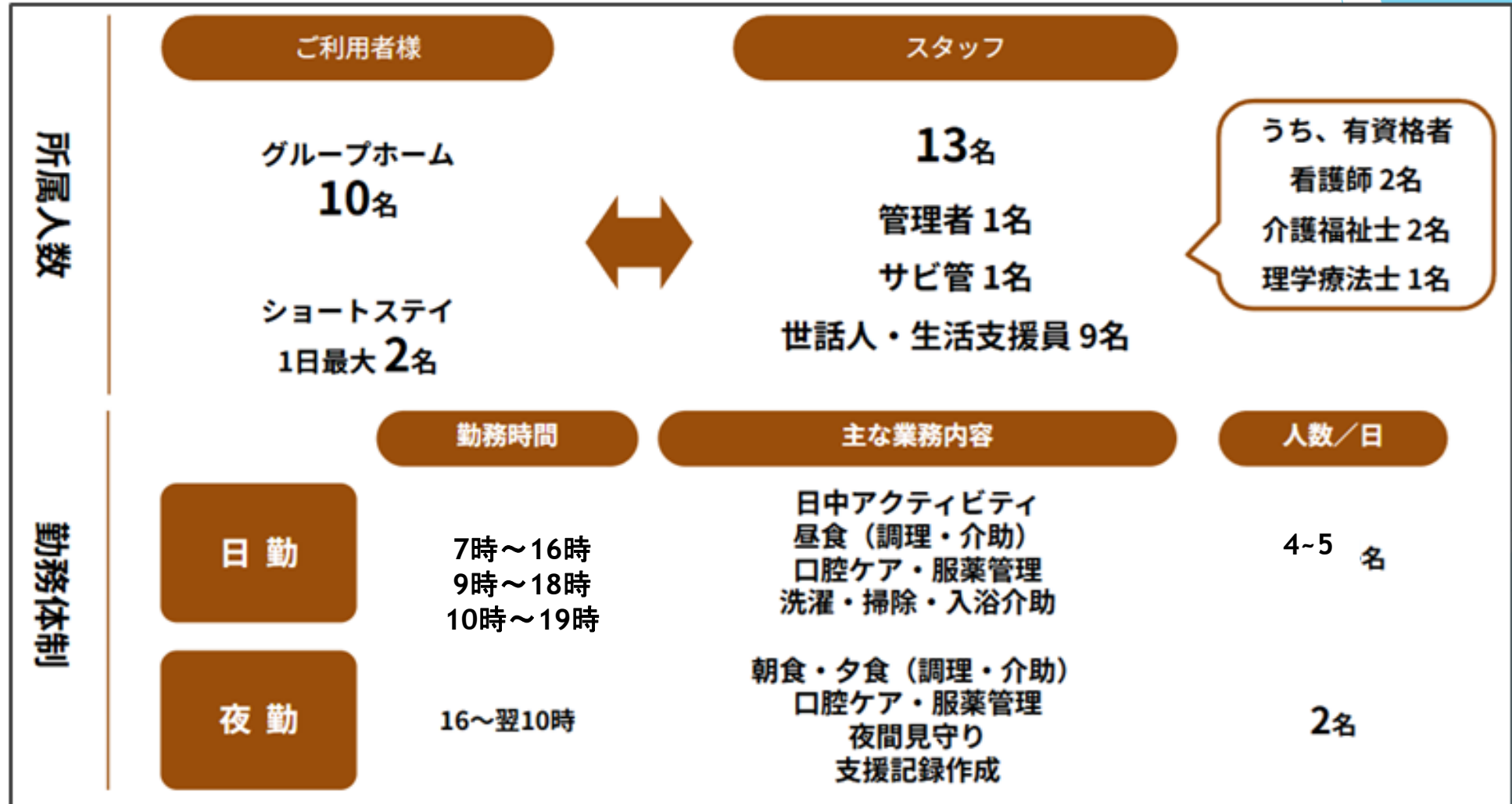
- また、この会に先立ち、ペットボトルマラカスとペーパーで作れるカスタネットをご入居者のみなさまと製作しており、当日はそれらも使用してみんなで楽しむ時間となりました。ご家族様も一緒に参加いただいております。



ご入居者の変化

- 10人中2名が週5日、1名が曜日限定で生活介護へ通所していましたが、+2名さらに生活介護への通所が決まりました。移動支援を探すことが最難関です。
- 身体と知的の方が同じ家に住むことは良いこともあれば、ぶつかることもあります。2拠点目以降はフロアを分けます。
- **SS**が始まったことで、ご入居にが影響が出ています。多動傾向、声の大きいなどの特性がある方を、ご入居者にも配慮しながら安全にどう受け入れていくかが課題です。
- とはいえ生活リズムが整ったり、自発性が出てきたり、ご家族との関係が良好になったりと良い変化が大きいです。ご家族がご家族の生活を送れるようになったことも大きな変化です。家族関係良好です。

職員及び支援体制について



支援体制の強化

- 入所して3か月まではホーム長などによる面談実施しています。
- OJTのマニュアル整備、習得業務をリスト化することで見落としや「人によって教えエア方違う」ことが減りました。OJTする側でチャットを活用し、新入支援員の特色や課題や配慮する点など細かく共有し、その人に合ったペースや伝え方など全体で細かく共有しながら進めています。
- 区分5・6且つ重いてんかん発作がある方の受入れ状況をふまえ、看護師を専任配置に切替ました。
- ご入居者の希望に応じて訪問診療・看護・歯科・リハビリりの利用を支援し、看護師を中心に医療連携を強化しています。
 - 月1回看護師とサビ管で医療アセスメント会議を実施、支援で注意する点や、今後起こりうることに對し、なるべく早い対応が摂れる様にしています。
 - 脱衣場と浴室にハンモック型リフト導入、腰痛にならない身体の使い方を当GHの理学療法士より座学と実技を提供しています。

今後の課題

- 2拠点目開所（2026年4月/狛江中和泉）に伴い支援員の変動があるため、生活のみではなく日中の活動を担保するか
- 限られた人員のなかでどうSSを受け入れていくか？（SSの方の過ごし方含む）
- 支援員の心身の健康管理
- 「支援員の定着」...重度ゆえに、メンバーさんが同じスケジュールで過ごすことが難しく支援員も日々の対応に悩んでる
- 新しく導入したハンモック型のリフトを安心安全に使い慣らす
- 24時間稼働の中でどう全体会議やケース会議など話し合
- 収益性が厳しい・・・帰省と日中の過ごし方について

本当に困っていま
す・・・。
ぜひご意見
聞かせてください！

